

きてみてなへす みてなへす

市立福知山市民病院

所在地
620-8505
京都府福知山市厚中町231番地
TEL:0773-22-2101 FAX:0773-22-6181
ホームページ: <http://www.fukuchiyama-hosp.jp/>

～一度私たちの病院に来てみませんか？～ **第3号** 発行日:平成21年4月15日

★病棟紹介～6階南はこんな病棟です～★

6南は消化器内科・内分泌内科が主です。しかし、現在どの病棟も**満床**の状況であり、循環器の患者様もいれば眼科の患者様もいたり、最近ではどの病棟も混合病棟の傾向にあるようです。

そこで6南では、消化器に関わらず研修に参加した人は、得た知識を**みんな**に広めよう！ということで、月に1回学習会を開いています。11月には①「胆・膵疾患に対する内科的治療とケアポイント」②「IVR(放射線医学)の基本理解」③



学習会中♪

「褥瘡ケアとポイント」の学習会を行いました。これに加え、**Dr**から看護師向けに治療や処置の**勉強会**も開かれており、みなさん**積極的に**参加されています。新人さんであるなし関係なく**誰でも**参加出来ますし、他の病棟の看護師さんでも参加されています！！学習会で得た知識を**活用**できるよ、私たちは日々頑張っています(>_<)

★新卒2年目～ケーススタディーインタビュー～★

新卒2年目では、ケーススタディーを行います。12月にケーススタディーを発表された4階南病棟(産婦人科・小児科病棟)の新卒2年目同期の3人、助産師の松下さん、看護師の濱田さん、田邊さんにインタビューしてきました。

- Q1 それぞれのケーススタディーについて教えてください。
- Q2 ケーススタディーを振り返って、思ったこと(良かったこと、苦労したこと等)を教えてください。
- Q3 ケーススタディーの発表会に参加された感想をお願いします。

- 松下A1「昨年度から当病院で**院内助産院**がスタートし、助産師の責任とやりがいを改めて**実感**する機会となったので、『**院内助産院における助産師の責任**』をテーマにしました。」
- A2「自分自身のケースの**振り返り**の機会になったのはもちろんのこと、他の助産師とも意見を**交換**する場となり新たな気づきが生まれました。」
- A3「他の看護師のケーススタディーの発表を聞くことで、看護の**視野**が広がり、**学びの場**になりました。」



松下さん・濱田さん・田邊さん

濱田A1「初めて**神経性食思不振症**という疾患の小児を受け持ち、私自身手探り状態で『看護』を行ったので、その神経性食思不振症の小児への行動療法から学んだことをテーマに挙げました。」

A2「今回は**精神面**と**行動**のつながりについて学ぶことが出来ました。患児の一言一言の言葉の裏には何かがあるのか、自分の患児に掛ける一言がどれほど患児に大きな影響を与えるのか知ることが出来ました。その為、**行動療法**を行う中での**言葉掛け**がとても難しかったです。」

A3「4階南病棟は、産婦人科・小児科病棟なので、他科の**ケース発表**を聞くことで、自分の病棟では**経験**できないことをケースを通して知ることができ、**勉強**になりました。」

田邊A1「**がん患者様**を初めて主体として受け持ち、自分が行ってきた看護が患者様にどう影響したのかどんな看護が必要であったのかを振り返っていきました。」

A2「自分の行ってきた看護や関わりを振り返って書いて行く中で、その時の自分の考えをうまく**言葉**にしてまとめることが出来なくて大変でした。」

A3「自分の意見や思いをまとめ、他の人へ伝えるということは本当に難しいことだと思いました。他の方の発表を聞く中で、様々な患者様への『**看護**』や『**関わり方**』を知ることが出来、『**自分だったらこうしたい**』、『**こんなことも看護なのだ**』と学べる貴重な体験となりました。」

★ご協力ありがとうございました★

院内探検隊



屋上:ヘリポート

ヘリコプターでの緊急搬送時に、ここに離着陸します。眺めも最高ですよ♪



病院外観

私たちの病院です♪
ホントにキレイなのでぜひ一度観に来てください★



2F:仮眠室

女子更衣室にある仮眠室です♪
ふかふか羽毛ぶとん、冷暖房完備、目覚ましもあるよ★